

シンポジウム 1 「胃癌死ゼロ、胃癌ゼロの近未来をめざして」

Rate of morbidity and mortality in gastric cancer will become zero in the future

司会 河合 隆 (東京医科大学消化器内視鏡学講座)
奥田真珠美 (愛知医科大学小児科)

胃癌ゼロを目指すには、Kyoto consensusにあるように胃粘膜の萎縮が進む前の感染早期に *H. pylori* 除菌することが望ましくされている。しかし中学生以下の若年者では除菌治療の保険適用がなく議論が未だに多い。一方胃癌死ゼロを考える上では、早期発見が重要となる。2016年4月より対策型胃癌検診に内視鏡検査が追加されている。胃がん検診においても精度管理、標準化、偶発症対策、生検率、発見率、有効性、など問題点が山積みである。本ワークショップでは若年者の除菌から内視鏡検診まで、安全かつ確実に施行するために幅広く演題募集いたします。